

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	安心ネットワーク形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市には男性で長寿世界一となった方をはじめ、多くの高齢者が元気に暮らしておられ、百歳以上の人口比率が全国平均の3倍という「長寿のまち」である。この「長寿のまち」という特長をさらに発展させ、健康で長生きをするという「健康大長寿」のまちを目指すとともに、仕事や社会参加、学びや修養などを通じて「生涯現役」で参加・活躍できる環境づくりを進める必要がある。</p> <p>また、地域内のつながりが希薄化しつつある中、他方で支援や介護が必要な方は増加傾向にあり、市民がお互いに支えあい、助けあいながら共に生きる社会の構築が必要となってきた。</p> <p>地域住民においても自治会、NPO等を通じ、安心ネットワークの形成に関する取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>いつまでも健康で、誰もが安心して暮らせる環境づくりのため、市民相互の支え合いのこころを醸成していくとともに、保健・医療・福祉の充実、地域福祉活動への支援を強化し、福祉社会の基盤となるユニバーサルデザインとノーマライゼーションのまちづくりを進め、生きる喜びを共有できる健やかな安心都市の実現を目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	71,828	本年度事業費（千円）	4,108	交付金額（千円）	1,500		
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	生きがい活動支援通所事業	交付対象事業	家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、デイサービスセンターなどで趣味活動、日常動作訓練、健康相談等を行う。		高齢者を対象に、デイサービスセンターなどで趣味活動、日常動作訓練、健康相談などを行った。（延べ398回）			
	高齢者安心生活支援事業	交付対象事業	無医地区、辺地・過疎地域の65歳以上の高齢者を対象に保健師等による訪問活動を実施する。		無医地区、辺地、過疎地域など的高齢者を対象とした保健師の訪問健康指導を行った。（延べ969件）			
	健康づくり推進員活動事業	交付対象事業	地域における健康づくりのリーダーとして推進員を委嘱し、運動教室や検診受診啓発キャンペーン活動などを行う。		健康づくり推進員を委嘱し、運動教室や検診受診啓発キャンペーン活動などを行った。（推進員223人）			
	在宅健康管理システム事業	交付対象事業	専用の自動血圧計及び携帯端末機を貸与し、血圧などの測定データの送受信による在宅での健康管理を行う。		専用の自動血圧計及び携帯端末機を貸与し、在宅での健康管理を行った。（利用者延べ185人）			
	健康長寿のまちづくり推進事業	関連事業	健康大長寿のさとづくり全国大会を開催し、老いや長寿を喜び感謝する健康長寿のまちづくりを進める。		生涯現役を実現するための社会参加、健康維持・増進について専門家による提言や先進的な自治体の取り組み事例を通じてその意義など理解を深めることができた。			
	介護支援・見守りサポーター活動事業	関連事業	特別養護老人ホーム等でボランティア活動をした65歳以上の高齢者に対し交付金を交付する。		特別養護老人ホーム等でボランティア活動をした65歳以上の高齢者に対し交付金を交付した。（登録人数27人）			
	心の相談事業	関連事業	臨床心理士による心の相談事業を実施する。		精神的に不安定な方を対象に臨床心理士がカウンセリングを行い精神的な健康づくりを支援した。			
	健康相談・指導事業	関連事業	健康教育・健康相談を実施する。		生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に健康教育・健康相談を実施した。			
	総合検診事業	関連事業	健康診査・特定健康診査・がん検診を同時に実施する。		健康診査・特定健康診査・がん検診を同時に実施した。（受診者延べ33,587人）			
	自殺予防対策事業	関連事業	自殺者をなくすために、市民、行政、関係機関及び団体等が一丸となって自殺予防対策を講じる。		自殺者をなくすために、「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携のもと、自殺予防対策を講じた。			
住民 協働 事業	老人クラブ活動事業	関連事業	老人クラブの運営のほか、友愛訪問活動事業、健康づくり事業、啓発・広報事業などを行う。		老人クラブの運営のほか、友愛訪問活動事業、健康づくり事業、啓発・広報事業などを行った。（106クラブ）			
	シルバー人材センター運営事業補助金	関連事業	定年退職者に仕事を提供し、生きがいや社会参加を促進するシルバー人材センター事業を支援する。		定年退職者等に仕事を提供し、生きがいや社会参加を促進するシルバー人材センター事業を支援した。			
	福祉有償運送事業費補助金	関連事業	京丹後市社会福祉協議会が実施する高齢者及び障害者を対象とした移送サービス事業を支援する。		京丹後市社会福祉協議会が実施する高齢者及び障害者を対象とした移送サービス事業を支援した。（利用者283人）			
住民が 取り組む 事業	住民と連携した障害者施設製品販売促進事業	関連事業	地域住民や地域団体と連携して、商品開発のための講習会やコラボした商品開発などを進め、地域に根付いた店舗づくりを行う。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

成果指標①	成果指標の目標数値	生きがい活動支援通所利用回数 H22 週1回 → H26 週2回		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	週1回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	介護保険の対象とならない相当に虚弱で一定の支援が必要な高齢者を対象に、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等の各種サービスを継続提供したことによる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	認知症サポーター数 H20 1,733人 → H26 4,000人		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	6,562人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	認知症に関する知識の普及・啓発のため認知症サポーター養成講座等を実施しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	健康づくり推進員数 H22 232人 → H26 300人（概ね100世帯に1人）		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	223人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	前年度と同水準のため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	特定健診受診率 H22 40.7% → H26 65.0%		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	38.9%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	がん検診受診率の低下に付随して、特定健診受診率も低下したことによる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	在宅健康管理システム利用台数 H22 160台 → H26 195台		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	185台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	制度の周知による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑥	成果指標の目標数値	地域福祉を担うボランティア数 H20 2,885人 → H26 3,500人		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	2,924人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	前年度より減少しているが、雪おろしも対象になっており積雪が少なかったことが要因にあるため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>いつまでも健康で、誰もが安心して暮らせる環境づくりのため、市民相互の支え合いのこころを醸成していくとともに、保健・医療・福祉の充実、地域福祉活動への支援を強化し、福祉社会の基盤となるユニバーサルデザインとノーマライゼーションのまちづくりを進め、生きる喜びを共有できる健やかな安心都市の実現を図った。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>市民の中から委嘱した健康づくり推進員が、地域における健康づくりの担い手としての意識を持って活動することで、地域住民にも健康長寿のまちづくりの重要性の周知を図った。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>自殺者ゼロを実現するため、「自殺ゼロ実現推進協議会」を中心とした各関係機関と連携し、広域的な支援を進めることができた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>健康で生きがいを持った元気な高齢者が増えることで、増加している高齢者の医療費抑制が期待される。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>計画的に高齢者宅へ訪問することで、高齢者一人一人の健康状態や生活状況を把握し、必要な人に必要な対応をすることができた。高齢者への健康管理の意識の高まりから在宅健康管理システムの利用が広まりつつあり、疾病・介護の予防啓発につながっている。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。